令和３年度　奈良県高体連バレーボール専門部

春季選手権大会　大会運営マニュアル（新型コロナウイルス感染症対応　無観客）（案）

4/15春季選手権大会抽選会

（１）大会申込時の確認事項 〔顧問、選手、チーム関係者、保護者〕

大会参加に当たり、大会運営マニュアルを遵守すること。遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ること

を確認すること。

　本専門部が参加者に求める感染拡大防止のための措置としては、以下のものが挙げられる。

１）大会参加に伴う確認事項

① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること（大会当日に書面で確認を行う。）。

ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は

　 当該在住者との濃厚接触がある場合

②　大会参加に伴い、保護者よりの大会参加願い（同意書）および当日の健康チェックシートの提出をす

　　ること。（参加者名簿の準備が必要な会場あり。）

③　チーム関係者は、当日の健康チェックシートの提出をすること。

２）大会会場での注意および確認事項

① **マスクを持参**すること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際には

　 マスクを**着用**すること。）。

② こまめな手洗い、アルコール等による**手指消毒を実施**すること。

③ 他の参加者等との距離（できるだけ１ｍ以上）を確保すること。観覧席では、人との間に荷物を置く

　　など距離を空けて座ること。

④ 競技中以外の場面において、大きな声で会話、応援等をしないこと。 **観覧席での声を出しての応援、**

**立ち上がっての応援、太鼓やペットボトルを打ち鳴らしての応援は禁止**とする。

⑤　チーム内での消毒に関して、消毒用具（アルコール除菌スプレー、除菌シート等）は各チームで準備

　　をすること。

⑥ 感染防止のために本専門部が決めたその他の措置の遵守、主催者および使用施設管理者の指示に従

　　うこと。

⑦ 大会終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、専門部に対して速やかに濃

厚接触者の有無等について報告すること。

３）その他、感染防止対策のための処置

①　ホイッスルはコート毎に準備をしている電子ホイッスルを使用するか、***ホイッスルカバーを使用す***

***ること。***（審判員持参の電子ホイッスルの使用可。）

②　本部席および各コートＩＦ席にアルコール消毒液を設置する。

③　会場（体育館）への入場は、チーム・学校関係者および部員のみとし、保護者、卒業生、友人、一般

　　の方等の会場内への入場は禁止する。**部員はチーム指定のジャージー或いは制服を着用。**

④　会場出入口に大会運営の趣旨を示した立て看板を設置する。（会場に確認。）

⑤　本部席に、非接触型検温計および体温計を準備する。

⑥　原則2時間毎に、館内の消毒作業（トイレ、ドアノブ、手すり等）および換気を行う。

⑦　換気のために、出入口を開放していることもある。

（２）当日の打合せ時の確認事項 〔顧問〕

大会当日の開館直後の顧問打合せにおいて、以下の項目について確認すること。

１）健康管理についての確認事項

① 会場内の手指消毒剤、石けん等設置場所の確認および手洗いの励行指導。

② 発熱が軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は、入場しないように顧問が指導する。

③　各チーム体温計を持参し、別紙【健康チェックシート】の管理の下、選手の体調管理に努める。

④ 試合に参加している選手以外のマスク着用要請。

⑤　選手の待機・更衣・飲食・練習場所の確認および指導。（各所で密にならない。）

＊特に**昼食等における感染拡大予防に努めること**。

⑥　試合前のウオームミングアップにおいて、感染症対策に留意するよう指導する。

⑦　水分補給における回し飲みの禁止。タオル、アイシングバッグ等の共用禁止。

⑧　ユニホームの共用は禁止。リベロのユニホームが足りない場合、リベロゼッケンはチームで準備す

　　る。（本部からの借用不可。）

⑨　ゴミの各自持ち帰りとその指導。 （駅等で捨てることの無いように、公共のマナーに注意すること。）

⑩　関係する試合終了後、部員は手指消毒或いは石けんを使っての手洗いを行うこと。また、30分以内

　　に会場を出ること。（会場周辺でのミーティングも禁止し、速やかに会場から離れること。）

２）大会運営についての確認事項

①　開場後、直ぐに顧問打合せを行う。（チーム出欠確認。***感染対策および空調、クイックモッパー、給***

***水タイム、審判割り、昼食について等）***その後コート責任者の指示の下、全ての顧問がコート準備お

　　よび会場準備にあたること。

②　会場集合時間を厳守すること。

**・**第１試合および準備補助員 **4/17,18 8:30（ジェイテクト会場）4/24 8:45（桜井会場）**

　　 第2試合以降のチームは、**最初の試合プロトコール１時間前**とする。

**・4/25（ジェイテクト会場） 全チーム8:30**

　　＊出場選手以外（応援のみ）の部員は、集合時間を遅らせること。

③　プロトコールは、次の設定時間とする。（4/25設定無し）

　　前の試合が設定時間を超える場合は、前の試合終了後、５分間の消毒時間の後、初めて試合を行うチ

　　ームがある場合は１５分間（合計20分間）、両チームとも２試合目の場合は追い込みで１０分間（合

　　計15分間）の合同練習の後、プロトコールを行う。

　　・**4/25** 第2試合前は、合計30分空けてプロトコールを行う。

　　　【開場時間８：３０】**（4/17,18ジェイテクトアリーナ奈良、第2体育館）**

　　第１試合９：３０　第２試合１０：４５　第３試合１２：００　第４試合１３：１５

　　第５試合１４：３０　第６試合１５：４５

　　　【開場時間８：４５】**（4/24 桜井芝、市民）**

　　第1試合９：４５　第２試合１１：００　第３試合１２：１５　第４試合１３：３０

　　第５、第６試合は追い込み１５分後

④　会場入りした部員およびチーム関係者の大会参加願い（同意書）および健康チェックシートの回収、

　　保管を顧問が責任を持って行う。（後日、提出要請があった場合に対応できるようにすること。）

⑤　エントリー用紙およびラインナップチケットは、各チームで準備すること。専門部ホームページより

　　ダウンロード可能。

⑥　最終試合終了後、コートの撤去および借用施設の整備と消毒を全顧問で行う。

３）コート設営等について

①　コート設営にあたっているチームの選手は、マスクを着用し、準備前に本部席に設置している消毒

　　液で手指の消毒を行うこと。また、の人数とし、

②　会場およびコート設営には全てのコート関係チームの顧問で行うこと。

③　コート設営および第1試合補助員は、**第３試合のチームを原則とし生徒合計１２名程度**とする。

　　（4/25は、第2試合の両チーム）

　　人数不足の場合は抽選会にて他のチームに補充を要請する。

④　コート設営の間は、第1試合のチームはアリーナ内に入場させないこと。

⑤　ボール、ＩＦ用の机と椅子、ベンチ、フラッグ、電子ホイッスル、得点板およびフロアー等の消毒作

　　業はコート関係チームの顧問で手分けをして、試合ごとに行う。

⑥　ベンチは、椅子１脚ずつ間隔を空け７席配置すること。2列設置してもよい。

⑦　ウオームアップエリアは、４m四方（１６㎡）でベンチ後方に設置することを基本とする。

　　＊ベンチ後方に設置できない場合は、通常の場所に設置してもよい。

⑧　給水場所は、ベンチエンド寄りの後方を基本とする。

　　＊ウオームアップエリアが通常の場所に設置されている場合には、給水場所も通常の位置とする。

　（３）試合時の確認事項〔顧問、選手〕

　ゲームの進行にあたって、以下の内容を遵守すること。

１）試合開始までの確認事項

①　アリーナへの入場について、第1試合のチームは会場設営完了後、以後の試合のチームは、消毒作

　　業完了後とする。

②　試合終了後、速やかにチーム関係者は使用したベンチの消毒後速やかにアリーナから退場すること。

　　その後、審判員およびコート関係チームの顧問による用具類の消毒作業を行う。（約５分間）

③　ゲーム関係者はアリーナ内で練習を行う前および試合終了後、ＩＦ席に設置している消毒液で手指

　　の消毒を行うこと。

④　アリーナ内での練習は、ユニホーム着用の選手（１４名以内）および監督、コーチ、マネージャー、

　　トレーナーの各１名とする。ただし会場の状況により、コート間のボール侵入を防ぐ観点より、各チ

　　ーム４名のボール拾い担当者をアリーナ内に入れることができる。

⑤　ボール拾い担当者は、フリーゾーンでのボール拾いを中心とした役割および給水等の準備を行うこ

　　とができる。ただし、公式練習終了後は、アリーナから出なければならない。

⑥　合同練習から試合終了まで、コート練習およびゲーム中は、ボールを扱う選手およびチームスタッ

　　フのマスク着用の義務はない。（コート外の選手、スタッフは着用すること。）

２）試合に関する確認事項（トスの時に、審判より主将に口頭説明を行うこと。）

①　試合前後の挨拶は、エンドライン整列での礼のみとし、握手は行わない。

②　給水タイムおよびクイックモッパーの適用は、朝の打合せで確認。

③　ベンチおよびウオームアップエリアにいる、**ベンチスタッフおよび控えの選手、コートサイドで指示**

**を行う監督も含めマスクを着用すること**。ただし、**随時リベロ交代する選手はその限りではない**。

④　ゲーム中、コート内で円陣を組んでのミーティングは控えること。

⑤　ゲーム中、相手コートに向けて大きな声を出すことや、チーム内においても至近距離での大きな声

　　を出しての指示等はできるだけ控えること。

⑥　ゲーム中、ハイタッチや靴底を手で触ることは控えること。

⑦　ゲーム中、チーム内においてもタオルの貸し借り、ドリンクの回し飲みは禁止とする。

⑧　ベンチおよびウオームアップエリア、密集および声を出しての応援は禁止とする。

⑨　ベンチおよびウオームアップエリアは清潔に使用し、チェンジコートの際や試合終了後にゴミや忘

　　れ物、ドリンクの飲み溢し等の無いようにすること。

⑩　チェンジコートの際、使用したベンチを監督席横に設置している消毒グッズで消毒してから移動す

　　ること。副審は両チーム移動開始してからセット間の計時を行う。（IF用紙にはルール通り3分間と

　　する。）

⑪　観覧席では、**座席に着席をして拍手のみの応援**とする。**立ち上がったり、声を出したり、太鼓やペッ**

**トボトルを打ち鳴らしたりするような応援は禁止**とする。

（４）その他

①　各チーム顧問は、「（１）大会申込時の確認事項 〔顧問、選手、チーム関係者、保護者〕」および「１）

　　大会参加に伴う確認事項」の「②大会参加に伴い、保護者よりの大会参加願い（同意書）および当日

　　の健康チェックシートの提出」について、部員および保護者への十分な説明を行うこと。

②　各チーム顧問は、本「春季選手権大会　大会運営マニュアル（新型コロナウイルス感染症対応　無観

　　客）」の内容を確認し、事前にチームへの内容説明を行っておくなど、スムーズな大会運営に協力す

　　ること。

③　当日使用するコートを基本に、コート設営や消毒作業、審判を行うために、各校顧問は必ず終日大会

　　運営に協力すること。

④　会場に入場する全部員（応援のみの生徒も含む）および、引率教職員、監督、コーチ、トレーナーの

　　健康チェックシートの記入および管理は、各校顧問の責任のもとで行うこと。

※　**大会１日目或いは２日目に負けたチームの顧問は、大会２日目および準決勝、決勝において運営役員**

**（審判員、消毒作業、会場警備）として必ず何れかの日に出勤し、大会運営にご協力をお願いします。**

※　4月15日(木)抽選会にて最終決定とするが、大会開催日までの社会情勢を鑑み、以降変更となるこ

　　ともある。